

# 緑区の都市農業は地域と共に

令和5年3月  
あいちの伝統野菜  
選定

JAみどりのブランド野菜“徳重だいこん”に関する活動をダイジェストでご紹介!

## 1 徳重だいこん保存会

生産・販売活動

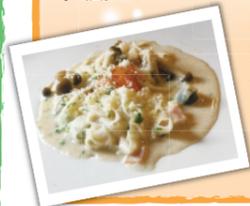
保存会の27名で、徳重だいこんの生産に励んでいます。令和5年の夏は猛暑の上、雨も少なく、病害虫に苦戦しましたが、無事に出荷することができました。JAみどりでは、296本の買取販売をしました。



## 2 地元の飲食店の応援

普及活動

保存会には、賛助会員として地元の飲食店も加盟しています。賛助会員の飲食店6店では、徳重だいこんを使った和風のメニューやカルボナーラなど、バラエティー豊かな料理を提供しています。(徳重だいこんの旬の時期限定)



## 3 小学生の栽培体験

普及活動

小学校からの希望により、JAみどり経済部職員が徳重だいこんの特徴や栽培方法についての授業を行ったり、農家が育てた徳重だいこんを寄贈したりするなど、食農教育に貢献しました。



## 4 嬉しいお便り

普及活動

JAみどりで徳重だいこんの種を受け取られた方からお礼と嬉しい報告のお便りが届きました。種を植えたところ、立派に徳重だいこんを育てることができたそうです。親戚や近所の方にも配り、皆に喜んでもらえたとのこと。これからもJAみどりの取り組みを応援したいという内容でした。今後も地域の方との繋がりを大切に、一体感を感じていただける取り組みに尽力していきます。



## 5 飲酒運転大根絶大作戦!!

普及活動

令和5年12月、愛知県緑警察署と連携し、「飲酒運転大根絶大作戦」を実施しました。JAみどりは、栽培する過程で規格外となった徳重だいこんを提供しました。道路交差点に停車したドライバーの方に徳重だいこんを渡しなが、飲酒時は運転しないように呼びかけました。



## 6 即売会

普及・販売活動

令和5年12月、熱田神宮で徳重だいこんの即売会を実施しました。約60本を販売し、緑区外の方にも徳重だいこんを宣伝することができました。



今後は、徳重だいこんの栽培方法を確立していきます。そして、品質と収穫量の向上を目指し、徳重だいこんの知名度を高めていきます。

# 緑区でアボカド栽培への挑戦

第2のブランドを目指して

## 森のバタープロジェクト

管内12名の組合員とJAみどりでは、「森のバタープロジェクト」と称して、アボカド栽培に取り組んでいます。JAみどり自身も、令和3年度から組合員の生産緑地を借りて、アボカドの試験栽培に取り組んでいます。



## アボカド栽培の難しさ

実をつける前に、夏の日差しや冬の寒さに耐えきれず、枯れてしまう木もありました。夏場の水切れ防止や遮光の調整、冬場の霜よけなど、小まめな管理が必要です。また、天敵にカメムシがあり、実がなった後にも吸汁をされないように、袋がけの対策なども必要です。



## 実がなりました

令和5年、遂にプロジェクトメンバーの数本の木が実をつけ、収穫に成功しました。実は大きく、実際に食べてみるとクリーミーで、後味はすっきりしています。スーパー等で販売されている海外のアボカドとは異なる、国産ならではの良さがあります。

## 今後の取り組み!

収穫量を増やすための栽培技術を習得するため、国内の産地視察を実施していきます。また、各生産者の栽培事例も共有し、試行錯誤を繰り返しながら安定した収穫ができるよう、栽培に励んでいきます。

## 体験農園

農地保全の課題として、担い手の高齢化や後継者不足が挙げられます。このままでは、農地の保全が追いつかず、都市から農業が減少していきます。JAみどりでは、緑区民の豊かで潤いのある生活環境の保全・創出に繋げるため、緑区の生産緑地を守る取り組みをしています。

生産緑地を保全し、活用する一つの手法として「体験農園」を開設するサポートをしています。農地を守りながら農業を伝承する仕組みを構築し、入園者へは自産自消により食と農への興味・関心を促しています。



# JAみどりの販売

JAみどりでは生産者が丹精込めて作った野菜・果実等を、様々な販売方法で提供しています。新鮮な状態で皆さまにお届けできるよう努めています。

## やさい朝市

毎週土曜日に、桶狭間支店・徳重支店・本店にてやさい朝市を開催しています。JAは販売支援のため、各店舗の駐車場の一部を会場として貸出しするほか、備品なども提供しています。



## スーパーマーケット産直

野菜売場にJAみどりの地産地消コーナーが設置され、やさい朝市や園芸組合の組合員が継続して毎日農産物を出品しています。現在は、「平和堂グリーンプラザ店」「コノミヤ滝ノ水店」「パローなるぱーく店」3店舗のスーパーで展開しています。



## ぶどう・梨直売所

農家が直売所で、収穫したての新鮮なぶどうや梨を販売しています。直売所では、農業応援定期貯金のご契約でお渡ししている「JAみどりやさい朝市クーポン券(100円)」も使用できます。JAみどりの窓口では、販売時期に、ぶどう・梨の直売所の情報が載ったチラシを配布しています。窓口へお気軽にお尋ねください。



## 軽トラ市

毎年7月と12月の原則第1日曜日に本店で開催している軽トラ市。地産地消の一環として軽トラックの荷台に野菜や果実、花き等を並べて販売します。



## 花の栽培・販売

令和元年度から女性部員を中心に花き栽培を行っています。春と秋の年2回異なる花を育て、軽トラ市で販売します。栽培を重ねることで、花の出来映えも年々向上しています。軽トラ市で綺麗に咲いている花が人気商品となり、近年では完売となっています。



# なごやさい 市内JAとの連携

市内3JA (JAなごや・JA天白信用・JAみどり)では、地元でとれた新鮮な農産物を“なごやさい”という愛称で販売しています。

## 市内JA あいちの伝統野菜で連携強化

名古屋市内の3JA管内には、それぞれの「あいちの伝統野菜」があります。皆さまに伝統野菜を身近に感じていただけるよう、JA間の連携強化を図っていきます。

- JAなごや 大高菜
- JA天白信用 八事五寸にんじん
- JAみどり 徳重だいこん

## JAなごや マルシェ号との提携

※移動販売車

JAなごやのマルシェ号が、JAみどり管内のぶどう農家を回り集荷して、JAなごやで販売しています。地区外の方に、JAみどり管内のぶどうを提供でき、販路拡大ができるとともに、新たなファンへの獲得に繋がっています。



# 農業所得の向上

～生産と販売の拡大～

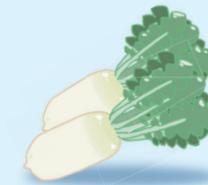


## JAなごや大高支店との連携

令和5年12月には、あいちの伝統野菜「大高菜」と「徳重だいこん」を相互のJAのイベントで販売しました。管内より多くの方に、地元の伝統野菜を知っていただく機会となりました。

# 行政との連携

徳重だいこんの復活・あいちの伝統野菜選定が実現したのは、母本選抜による種どりや比較栽培など、名古屋市農業センターの協力によるものが大きいです。今後も、行政との連携を継続し、徳重だいこんをより多くの方に知っていただけるよう、普及活動に努めます。



## 名古屋市・区役所との連携

徳重だいこんが「名古屋緑農政だより」に取り上げられました。他にも、保存会の発足時の様子や飲食店での取り組み、イベントでの販売の様子などが各メディアで取り上げられ、毎回多くの問い合わせをいただいています。メディアを通じた宣伝が、徳重だいこんをPRする一助となりました。

## 全国の都市農業地域との連携

東京都練馬区は、都市農業に積極的に取り組む自治体等と都市農業の魅力を広く発信し、更なる都市農業振興を図るために、全国都市農業フェスティバルを開催しました。全国から都市農業地域として、国分寺市、松戸市、名古屋市、京都市が招聘され、JAみどりは名古屋市の代表として参加しました。当日は名古屋市ブースにて徳重だいこんを販売し、1時間で完売しました。全国に徳重だいこんのPRができました。

